

レッスン5

地下生活

ち か せい かつ



本文

ほんぶん

Main Text

東京のように多くの人口が集中しているところでは、どうしても地下に空間をもとめなければならない。今でもかなり地下の空間を利用しているが、将来は地下にいくつもの町を作って、それを地下鉄でむすぶようになるかもしれない。

地下に都市を作って生活するというと、科学小説か世界大戦の時代のようだが、そうではない。大手の建設会社けんせつががいしゃは、地下に都市を作るための研究をしているそうである。土をほるための機械かいろりょうの改良もだ**いぶ**進んでいるという話である。

また横浜市では、電力会社が新しく発電所よこはましを作ろうとしたが、土地が見つからなかったので、市内にたてる予定の十七階のマンションの地下に、発電所を作っているそうである。

地下で生活すると、人間の体や精神にどんな影響えいきょうがあるかということも、よく考えなければならない。地下生活のためにおこるストレスや不安をやわらげるために、クラシック音楽や、虫の声などの自然の音をながすことも研究しているそうだ。

地下生活では天気は関係ないから、かさもいらなくなるし、雪で交通がとまることもないだろうから、仕事の能率は上がるかもしれない。しかし地下では自然に親しむことができない。小さい子どもを育てているときなど、日光に当てることが必要だし、老人にも地下は**適当**ではないだろう。将来は小さい子どもや老人だけ地上にいて、働く人は地下にいるという時代になるかもしれない。